

市立角館総合病院に関する 調査特別委員会中間報告

第5回特別委員会では、医師をはじめ、実際に現場で働いている方々と、意見交換をしながら、より良い病院建設を目指すという考え方で、看護師の皆さん方との意見交換を行った。

看護師の方達からは、現状と課題として次のような意見

があった。

○医療スタッフ不足による看護体制の構築

○看護師による患者へのフォローが大切

○重症患者看護中のナースコールへの対応や急性期同様

に看護が必要な慢性期患者へ手が回らない看護体制

控室

私の家のすぐ近くに朝早くから夜遅くまで実に働きの鈴木さんという御高齢の方がおられる。その方から時々出稼ぎの話などを聞いていると戦後の日本はこの方達で支えられて来たんだなという思い

でいっぱいだった。恐らく戦後、なにもない時代から立ち上がりこの方と同じ思いの方がこの仙北市にも沢山おられると思う。

その方が「たけのこ」取りで行方不明と聞いたときはいくらあの頑強で戦後、生き抜

いてきた精神力の強い鈴木さんでも残念ながら生きて還ることは無理かなという思いが日増しに強くなってきた。

その鈴木さんが20日間も生きることに執念を燃やし続け、生きていたという報を受け取ったとき「えがった。えがった」と涙が出てきた。

東日本大震災で「生」ということが見直されている。私達はどだい一人では生きられない。仲間とともに生き抜いていくしかない。でも、山中でたった一人で生き抜いてきた。このような鈴木さんのような精神力も大切な事実として胸に刻んでおく必要があるのではないか。

(狐崎捷琅 記)

へのジレンマ

○連絡調整と接遇向上の為の朝ミーティングの実施・看護師による入院患者アンケートの実施(クレームを解消し、退院までの信頼回復を図る)

○各病棟で個室が少なく狭い
○外来受付での時間帯による超過密混雑と外来内科受付の為の2階までの階段(高齢者にとってはつらいとの声)

○透析患者への設備等が十分である

要望・提言としては

I、医療スタッフ(常勤医師及び看護師)の確保

II、脳外科に、県内で4人しかいない血管内認定医師がいる事をアピールして欲しい

III、病院へのクレームはすべて病院へ報告して欲しい(内容が把握できないと対応できない)

IV、各病棟でのトイレ付き個室をふやし、1室を4人ベッドにして欲しい

V、宿泊ドック用としてシャワー・トイレ付き個室を設置

VI、外来受付の時間帯による超過密混雑時のボランティア

アによる案内サポート体制
VII、外来受付のための階段の解消

VIII、感染防止対策加算2の取得を目指す

委員からの要望・提言

◆情報(クレーム・指示等)共有の徹底(医師事務局・各病棟・ナース各部門)

◆受付から会計までの患者の待ち時間を短縮する方法の検討(例えば事務職員との連携で受付時の超混雑を解消できないか)

◆ランチミーティングの検討

◆潜在的不満(クレーム)解消のための患者とその家族との懇談会の検討

◆先進事例に学ぶ研修の検討
終了後、西病棟避難路の安全確保と透析患者の現況について、事務長立会いの下、現地調査

を行い、早急に改善対策を講じるよう要望した。

(小田嶋委員長より)

貴重なご意見を頂いた。今後共要望や課題等があったら遠慮なく話して欲しい。現場の声を設計に盛り込む為には、基本設計までに協議を詰める必要がある。今後は、先進病院の視察も含めて協議を重ねていきたい。

(熊谷一夫記)



看護師代表の方々と活発な意見交換風景